

協議結果報告書作成の注意事項について

※令和2年4月30日時点での情報です。各課との協議において必要な情報等がある場合は、チェックシートにない場合においても反映願います。必ず、関係各課との協議事項が判断できるよう、図面を作成願います。

対象図面	□にチェック	備 考
すべての図面	<input type="checkbox"/> 事業区域を赤の実線で囲む（開発行為は開発区域） <input type="checkbox"/> 設計者の押印（協定締結時でも可） <input type="checkbox"/> 方位マークは右上 <input type="checkbox"/> 縮尺は合っているか <input type="checkbox"/> 図面の色合いを工夫し、見やすいものとなっているか <input type="checkbox"/> 図面の題名、表題を記載しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての表示が同じ線の太さ、色等であると図面としてわかりにくいいため、土留めの種類、段数及び高さ等を必要に応じ色を付ける等工夫すること。 ・現況図以外で、現況図の情報を反映させる場合は、薄い緑色で表示する等工夫すること。 ・表示の重なりがないよう見やすく工夫すること。
位置図	<input type="checkbox"/> 資材搬入経路・・・赤矢印 <input type="checkbox"/> 排水流末経路・・・青矢印 <input type="checkbox"/> 区域の明示・・・赤実線	<ul style="list-style-type: none"> ・個人名は消すこと。 ・事業区域と表記すること。（開発行為は開発区域）
公図の写し	<input type="checkbox"/> 閲覧場所、閲覧日と閲覧者が記入されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の情報は最新のものであること（原則3ヶ月以内）

	<input type="checkbox"/> 区域が明確になっているか <input type="checkbox"/> 土地所有者、地目、地積の情報が明記されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一部の場合の境界を確認するため、一部の境界上を破線としているか。
現況図	<input type="checkbox"/> 区域に接する道路について道路幅員を表示しているか <input type="checkbox"/> 区域に接する道路について建築基準法上の扱い、及び市道番号を表示しているか <input type="checkbox"/> 至る道路幅員を表示しているか。 <input type="checkbox"/> 既設配管について、流れ方向、管径を表示しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幅員の表示は、原則最も狭い部分を含め2か所以上表示すること。 ・ 建築基準法42条第2項の道路が開発区域に接している場合は、元道のセンターを示すこと。 ・ 当該道路の中央に示すこと。 ・ 歩道に接している場合は、歩道の幅員も記入。 ・ 路線の区域がわかりにくい場合は、数か所に同路線の市道番号及び建築基準法の扱いを示すこと。 ・ 道路査定図と合わせてミリまで幅員を表示すること。 ・ 汚水→オレンジ ・ 雨水→濃青 ・ 配水給水→水色 ・ 汚水についてダブルで布設されている場合は、人孔等に高さを表示すること

- 既設の排水施設について、種類、流れ方向、規格を表示しているか
- 開発区域内に公共汚水ます、水道、雨水最終柵が設置されている場合は、既設として表示すること。

- 凡例により図面を明確に表示しているか。

- 現況高が適所に表示されているか。

- 既設電柱、防犯灯の表示がされているか。
- 既設ブロックの表示（構造、天端）をしているか。
- 法面がある場合は、法の表示をしている

- ・マンホール間は線で結ぶこと
- ・U字溝、L型側溝等既設排水施設を表示するとともに流水方向を表示すること

- ・現地の状況によりガードレールやカーブミラー等様々なものがあるため、凡例により表示すること。
- ・現況高は、造成計画を踏まえ、断面として切る部分、開発区域の際の部分为原则とし、適所にとることで高低差の処理を適切に行っているか判断できるものとし、道路については、道路の両端とトップを表示すること。

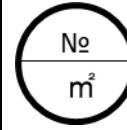
- ・隣地に既設ブロックがある場合は表示し、天端を表示すること。（構造、段数）

	<p>か。</p> <p><input type="checkbox"/> 既設で建物がある場合表示しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 既設杭の表示をしているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 撤去・移設の表示をしているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物をどうするかについて、29条で施行同意をもらう場合があるので宅地課開発審査係と協議すること。 ・ (民杭・市杭) 及び種類を表示しているか。 ・ 計画図は計画の絵で表示する為、別図対応又は現況に表示。
求積図(三斜、座標)	<p><input type="checkbox"/> 道路査定図と整合しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 辺長はミリまで表示しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 新設道路及び拡幅がある場合は、幅員をミリまで表示しているか。</p> <p><input type="checkbox"/> 境界確認書があるかどうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発区域の確認を行うため、区域の確定ができること。 ・ (民杭・市杭) 及び種類を表示しているか。
土地利用計画図	<p><input type="checkbox"/> 凡例(土地利用計画表)に必要な情報が記載されているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発区域100%に対し、宅地が○%、道路が○%等の表示をすること。 ・ 宅地内の振り分けも表示(台数・%も) ・ 帰属(寄附)の有無表示 ・ 土地利用に係る各課との協議の基準及び数値が確認できること ・ 土地利用に係る公共施設の管理者等に関する事項が確認できること

□宅地についてNo、敷地面積の表示がされているか。

(新設道路、拡幅道路、公園用地、ごみ収集場用地、電柱用地等も同様の表示をすること。)

□道路幅員、市道番号、建築基準法の扱いは表示しているか。



- ・上記凡例の表示をすること
- ・敷地の形状が複雑な時は有効宅地面積を表示すること
- ・道路幅員については、開発区域に接する部分について1～2か所表示すること。
- ・拡幅がある場合には、拡幅後の幅員と拡幅前の現道の幅員を表示すること。
- ・接続道路の幅員について、有効で6メートル又は5メートルとれているか確認すること。(側溝やガードレール等により、取れてない場合があるため注意すること。)
- ・新設道路がある場合は、適所に幅員を表示し、転回広場がある場合は9メートルの円が包括していることがわかるよう表示すること。ごみ収集場の場所によっては11メートル。
- ・前面道路が2項道路の場合は、元道のセ

- 建物情報を表示すること(用途・構造・建築面積(建蔽率を含む。）・延べ面積・最高高さ、階数(専用住宅を目的とする開発行為を除く。))
- 駐車場の規格(2.5×5.0)を表示すること。
- 開発区域周りの長さを表示しているか。
- 高さ表示は不要
- 敷地分割線の表示
- 行政界、用途境
- 道路復旧、アイドリングストップ看板、

- ンターラインを表示すること(2項セットバックと対向からの6mセットバックの兼ね合い)
- ・市道番号及び建築基準法の扱いはセットで表示し、路線の中央に表示することを基本とするが、図面の見易さを勘案し、的確な場所に表示すること。
- ・待避所がある場合が寸法を記入し、基準を満たしているか確認すること
- ・表示場所は、図の建物中でも別表表示でも構わない。
- ・図面中に表示すると文字が増え煩雑になるため、凡例中に表示すること。
- ・長さの表示は、求積図と整合を図ること。(センチ止めでも可)

新設道路がある場合は、道路の各延長と縦断勾配、道路のトップと両端の高さを表示すること

道路幅員、市道番号、建築基準法の扱いは表示しているか。

高低差の処理に関するものは際の部分の高さを表示しているか。

ブロックについて適切に表示しているか

法処理の部分は法の表示をしているか

注書きの表示をしているか

・ 横断勾配が確保されているか確認のため道路の高さは入れること

・ 土地利用計画図と同様。

・ 法面処理の部分は、法上と法下の高さを表示すること。

・ ブロックの構造、段数、天端、範囲、長さの表示

・ 既設、新設の表示

・ 区域外の隣接ブロックも上記と同様に表示

・ 逆Lの場合は表示すること。（構造は大丈夫か確認する【底板の延長】）

・ 法上、法下の高さを表示すること

例

(注)法面処理をしている箇所では高低差が40 cmを超える場合は、建築時にCPブロック又はRCで対応すること

(注)造成時は-〇〇cmで仕上げるものとする。

	<input type="checkbox"/> 断面線の表示はあるか	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に応じ断面線を増やすこと ・断面を表示している部分には、計画高及び現況高を表示すること
造成計画断面図	<input type="checkbox"/> 適切に高さを表示しているか <input type="checkbox"/> 断面について、開発区域外－開発区域－開発区域外により表示しているか <input type="checkbox"/> ブロックの構造、天端を表示しているか <input type="checkbox"/> 現況高ラインと計画高ラインを表示し、切土盛土部分を色分けしているか <input type="checkbox"/> 凡例を表示しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・原則断面図で高さを表示しているところは、平面図から高さを読み取れるようにすること。 ・市道〇〇－開発区域－隣接地の表示 ・開発区域内については、縦線により区分し、開発区域内の用途を表示（例：建物、植栽地、駐車場等） ・切土、盛土、計画高、現況高、計画高ライン、現況高ライン
給排水平面図	<input type="checkbox"/> 現況図の情報が表示されているか <input type="checkbox"/> 道路幅員、市道番号、建築基準法の扱いは表示しているか。 <input type="checkbox"/> 計画高は表示されているか <input type="checkbox"/> 計画に応じ、表面排水の方向を表示しているか	<ul style="list-style-type: none"> ・表面勾配をみるため

- 配管、柵等について既設、新設の表示をしているか
- 雨水貯留量の算定式の表示はしているか
- 凡例は適切に表示しているか
- 新設排水施設（横断側溝等）の規格を表示しているか
- 排水方向（雨水管、污水管、雨水排水施設等）を表示しているか
- 隣接地に水路がある場合はどのような構造か確認すること。
- 必要に応じ、管底の高さや、管の縦断勾配を表示しているか
- 浸透舗装をする場合はその範囲を表示しているか。

- ・浄化槽のときは污水管ではなく排水管にする。
- ・基準を満足しているか確認するため
- ・U字溝がある場合は、新設ブロックの基礎が30°ラインに収まっているか確認する。
- ・可変側溝だと5%確保できているか確認すること。
- ・U字溝だと3%確保できているか確認すること。

凡例の表示例

図式	名称	備考	数量
	開発区域		
	貯留浸透槽	1×8.5×1.5	○基
	既設汚水本管	φ○○VU	○○m
	新設汚水本管	φ○○VU	○○m
	新設汚水人孔	φ○○(○号)	○基
	新設公共汚水ます、取付管	公共ますφ○○	○箇所
		取付管φ○○V U	
	新設落蓋式U字溝	U-240	○○m
	新設集水柵	□400	○基
	雨水取付管	φ○○VU	○箇所
	新設雨水本管	φ○○VU	○○m
	新設雨水人孔		○基
	流水方向		
	既設配水管	φ○○	
	新設配水管	φ○○	
	新設給水管	φ○○	

記号	名称	面積(m ²)	比率(%)	帰属	備考
	開発区域				
	宅地				
	新設道路			市	
	ごみ収集			市	○か所
	公園			市	
	電柱用地			市	○か所
					
	合計		100.00		

天端○○.○○
CB3段積み H=○○.○○